

# 海外事業も開始、展開から充実へ



ジェイリース CEO 代表取締役社長

## 中島 拓氏

はサービスの拡充を図っていく方針。「これまでの『展開』から『充実』へと事業の進め方を転換する時期。何よりも信用を第一に、ブランドイメージにさらに磨きを掛けていきたい」

今年3月末時点での売り上げ17億円、経常利益2億円の目標はいずれも達成の見込み。順調な業績の伸びを地元に戻元することも忘れない。

同社は3年前から新卒採用を実施している。10人、20人と徐々にその数が増え、今年は30人の新入社員が入社する予定。その内の8割は地元出身、地元大学の卒業生だ。不況下で学生の就職率が低迷する中、大分県の雇用環境改善に貢献している。「大分発の企業として、大分のためにできることはさせてもらおう」ときっぱり。「今年も優秀な学生が集まってくれました。10年後のジェイリースを担う人材に育ってほしい」と大い

に期待している。

見事J1昇格を決めた大分トリニータの支援も公私にわたって積極的。昨年はホームでの試合はもちろん、忙しい合間を縫って夫婦でアウェーの17試合に駆け付けた。「アウェーの試合場ではサポーターと一緒に飛び跳ねながら応援しています。おかげで足腰が強くなりました」とうれしそうに笑う。

家賃保証業のジェイリース。賃貸住宅のオーナーと入居者双方に大きなメリットをもたらす画期的なサービスが大きく成長している。

昨年は2月に鹿児島、福岡、4月に北九州に出店。九州ブロックでの要所を押さえるとともに、9月にはソウルに現地法人「トラステート」を設立し韓国進出を果たした。関連して東京に不動産会社「あすみら

い」も創設。留学生や就職で来日を考えている人を対象にしたサービスの提供が始まった。

「予想を上回る好評を頂き、私たちの仕事の必要性を感じています」と手応え十分。中国進出も視野に入れている。

現在は国内に14支店、新宿スクエアタワー内に移転し機能強化を図った東京本社、そしてソウル進出と、国内外に広がったネットワークを基盤に今後



お部屋探しの  
頼れるパートナー！

賃貸物件の快適な部屋探しをサポート